

学 ぶ 力 と は

小学校での学習は、子供たちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校は、基礎学力を高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「なぜ…なのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、身に付けた知識を生かし、見通しをもって考える力のことをいいます。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身に付き、困難なことがあっても、くじけないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子供の主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となっていきます。

家庭の安らぎの中に「学び」の環境を

進んで学ぼうとする力は、子供たちが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。学校と家庭とが協力し合って、子供たちの「学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

家庭が心がけること

☆生活リズムを整え、決まった場所と時間で、**学習に集中できる環境を整える。**

☆がんばりりを認め励まし、**温かいふれあいの時間**をもつ。

学校が心がけること

☆基礎学力や学び方を身に付け、主体性を育てる**学習指導**を行う。

☆子供のよさを生かした、**家庭学習の提案**をする。

- * 家庭(保護者)と学校(教師)とが、家庭学習の習慣化を目指して協力し合うことが、子供たちの心を耕し、「学ぶ力」を育てます。
- * 子供たちの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。